

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府宮新金岡2丁6番2期高層	階数	地上14F
建設地	大阪府堺市北区新金岡町2丁6番の	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、近隣	平均居住人員	399 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2014年3月10日
敷地面	4,106 m ²	作成者	杉浦康彦
建築面	2,225 m ²	確認日	2014年3月14日
延床面	7,041 m ²	確認者	木村孝一郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	76%
③上記+②以外の	76%
④上記+	76%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	2.7
温熱環境	3.0
光・視環境	3.2
空気環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

機能性	2.5
耐用性	3.0
対応性	2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

建物の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.8
効率的	N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.9
地域環境	2.5
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	安全性・経済性を重視した良質な住環境を創出し、人と街にやさしい まちづくりを行います。	その他 特にありません。
Q1 室内環境	各住戸には、南に面するバルコニーを設け、採光・通風を、また高い遮音性能によりプライバシーを確保している。高い断熱性能と外皮性能により冷暖房負荷を低減し、健康に配慮した内装材を採用している。	Q3 室外環境 (敷地内) 地内の緑化を図り、豊かな外構の形成をしている。
LR1 エネルギー	各住戸は、外皮に2方向(南面・北面)面しており、自然通風・自然採光を確保する計画として省エネルギー化を図っています。	LR3 敷地外環境 照明器具の選定や設置位置など光害対策を行うとともに、雨水貯留槽を設けることで、都市洪水等に配慮しています。
Q2 サービス性能	「移動等円滑化誘導基準」を満たし、車いす利用者・高齢者にも配慮しております。	
LR2 資源・マテリアル	低環境負荷材料の採用を行っています。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	大阪府営新金岡2丁6番2期高層住宅	BEE	BEEランク
	建設地	堺市北区新金岡2丁6番	1.2	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 7,040.82 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		4.0	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.8	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		対象外	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		4.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	